

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040020

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	浄水場電気機械設備更新整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	更新施設数		#N/A	
事業目標	2施設	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	簡易水道統合に伴い、雄武、沢木、幌内浄水場の3施設に係る電気機械設備更新整備事業として、青葉第二浄水場の電気計装設備が平成20年に納入、稼働を開始しており、5年経過による消耗機器の更新が必要となります。 また、沢木、幌内浄水場稼働開始から10年が経過するに伴い、同様の整備更新が必要となることから、要望いたします。	沢木浄水場 ・UF膜ろ過装置薬品洗浄他工事 (前処理ファイバックス洗浄) 浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二中央監視装置ハードディスク ・ " サーバー装置ハードディスク ・ " 自家発オイル・冷却水交換 ・量水器室 UPS 電池交換 ・低区配水池UPS 電池交換 ・末広配水池 電磁接触器取替 ・水質計測器消耗部品取替 ・沢木浄水場自家発オイル・冷却水交換	沢木浄水場 ・粒状活性炭更新工事 浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二中央監視装置ハードディスク ・ " UPS 電池交換 ・ " シーケンサ電池 ・低区配水池 UPS電池交換 ・沢木浄水場 UPS 電池交換 ・末広配水池 電磁接触器取替 ・水質計測器消耗部品取替	沢木浄水場 ・UF膜ろ過装置薬品洗浄他工事 (前処理ファイバックス洗浄) 浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二 サーバー装置ハードディスク ・ " UPS電池・ファン ・ " 自家発オイル・冷却水交換 ・沢木浄水場自家発オイル・冷却水交換 ・役場庁舎 監視 UPS 電池・ファン ・末広配水池 電磁接触器取替 ・水質計測器消耗部品取替	浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二 サーバー装置ハードディスク ・ " 自家発蓄電池取替 ・低区配水池UPS 電池交換 ・末広配水池 電磁接触器取替 ・水質計測器消耗部品取替	沢木浄水場 ・UF膜ろ過装置薬品洗浄他工事 (前処理ファイバックス洗浄) 浄水場電気計装部品更新工事 ・青葉第二 自家発オイル・冷却水交換 ・ " 自家発蓄電池取替 ・ " 自家発蓄電池取替 ・末広配水池 電磁接触器取替 ・水質計測器消耗部品取替	
	事業費(千円)	23,905	3,800	8,500	4,950	1,705	4,950
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	23,905	3,800	8,500	4,950	1,705	4,950	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	11,828	3,728	8,100	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	その他	0					
一般財源	11,828	3,728	8,100				
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・UF膜ろ過装置薬品洗浄他工事 2,258千円 ・浄水場電気計装部品更新工事 1,470千円 合計 3,728千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・沢木浄水場活性炭更新工事 6,480千円 ・浄水場電気計装部品更新工事 1,620千円 合計 8,100千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	2施設	2施設	2施設	1施設	2施設
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	98%	95%	0%	0%	0%
	(継続有り)	全体達成率	16%	49%	49%	49%	49%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	浄水場電気機械設備更新整備事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊 孝司
		評価者	作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新整備施設数。		
【抱える課題やニーズは】	機器老朽化による浄水処理機能停止。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	浄水機能の維持向上による安定移動。	①	施設数/整備施設数	目標年度	平成26年度
				目標値	2施設
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安心・安全な水供給が図られる。	②		実績値	2施設
				達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による、更新整備事業を実施した。	見積により民間業者に発注し、更新整備事業を行った。	目標年度	平成26年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民生活や産業諸活動に対し、水質の安定維持と供給確保のための浄水施設の更新整備を行うことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	電気機械設備の更新整備により、施設の延命及び水質改善施設の整備が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	稼動頻度が高い設備優先による更新整備の実施及び使用可能設備の再使用による経費節減を図ったことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	水の安定供給が図られたことから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水の安定供給のためには、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
水の安定供給のためには、機能現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止